

## 第4号様式（第10条関係）

## 会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成22年度 第3回武蔵村山市公民館運営審議会
開 催 日 時	平成23年1月31日（月） 午前10時～11時半
開 催 場 所	さくらホール（市民会館）集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：荻野委員長、福田副委員長、齋藤委員、安田委員、高橋委員、鴻田委員、斉藤委員、林委員 事務局：生涯学習スポーツ課長、生涯学習グループ主査・主事 欠席者：本村委員、嶺岡委員
議 題	1. 平成23年度公民館講座について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について：委員の意見をもとに平成23年度公民館講座（案）について（建議）を作成することとする。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	<p>議題1について、事務局より会議資料に沿って説明。</p> <p>（議 長）平成23年度公民館講座について、意見をお願いします。 委員の皆様には、さまざまな意見を出していただき、それをもとに来年度の案をまとめていきます。既存の講座の枠にとらわれることなく、活発な意見交換を行いたいと思います。</p> <p>（委 員）映画の上映会については、例えばお金をかけずに、多摩図書館のような公立図書館所蔵のフィルムを使用すれば、映写技師さえいれば上映会を実施することができるので、検討願いたい。また、市民企画講座については、資料に示されたキーワードなども参考にし、新たなテーマを設定して実施してはどうか。</p> <p>（委 員）和太鼓などの芸術・文化に関連した講座はどうか。子供たちを対象とした講座は、ひとつのことに取り組むことで、子供たちの社会性を育てることにもつながるのではないかと。</p> <p>（委 員）例えば、市民企画講座のテーマに村山の郷土芸能というのでもいいのではないかと。市民の活動を市が積極的に取り上げていくのは重要なことである。</p> <p>（委 員）郷土芸能だけでなく、幅広く日本の伝統芸能でも良い。あまりテーマが限定的だと、せっかく募集しても応募してくる件数が少ないということもありうる。</p> <p>（委 員）必ずしも郷土というテーマでなくても良いのでは。幅広い講座を実施する必要もある。</p> <p>（委員長）今回大変応募があった家庭教育講座など、市民の要望があって、続けて実施する講座というのにも必要である。</p> <p>（委 員）武蔵村山には狭山丘陵があるので、親子で参加する自然散策の講座なども家庭教育講座にふさわしいのではないかと。</p> <p>（委 員）昔遊びの講座なども良いのではないかと。</p> <p>（委員長）さまざまな意見をいただきましたが、このような意見をもとに事務局において、建議（案）をまとめていただきたい。</p> <p>（事務局）これまでの会議の意見もあわせて、建議（案）をまとめます。</p> <p>（委員長）長時間ありがとうございました。</p>

